



2023年度 山口大学の「環境目標と行動計画」

環境対策スローガン 「小さな努力 大きな一歩 一人一人の環境対策」

環境対策スローガン作者 経済学部 堀井 皇誠

この「環境目標と行動計画」は、本学の「環境マネジメントに関する規則」や「エネルギーの使用の合理化に関する取組方針」(省エネ法)及び「地球温暖化対策に関する実施計画」(温対法)に則して、環境の保全、エネルギーの抑制、その他環境に配慮した事業活動の管理・運営に関する方針として定めるとともに、国連の掲げるSDGs(持続可能な開発目標)及び、政府の2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指した取り組みに賛同し、事業所全体・組織・構成員(教職員・学生等)一人ひとりが自身の課題と解決方法であることを認識して全員参加で取り組むものとする。

基本方針	分類【SDGs指標】	環境目標		行動計画	担当
		中期目標	単年度目標		
1 事業活動における環境負荷の低減	温室効果ガス排出抑制【SDG7、9、11、12、13】	2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減を目指すこととして、第4期中期計画(2022~2027年度の期間)においては2013年度比で38%削減を目指す	エネルギーの消費量を対前年度比及び5年間平均原単位変化1%以上の低減に努める 電気需要平準化評価を対前年度比及び5年間平均原単位変化1%以上の低減に努める 温室効果ガス排出量を対前年度比及び5年間平均原単位変化1%以上の低減に努める	①節電実行計画の履行 ・昼休み時間の照明の消灯 ・エレベーターの2アップ・3ダウンは特別の場合を除き禁止 ・冷暖房使用設定温度の徹底、業務終了前(10~30分を目安)の冷暖房器具停止 ・パソコンのスタンバイ(スリープ3~5分設定)モード・画面輝度(40%)の設定、OA機器・実験機器等の作業時間外の電源OFF ②建物の省エネやZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化を含めた施設整備の推進、設備・備品等の省エネ機器への更新 ③エネルギー使用量の把握・周知・増加原因確認及びその改善 ④蓄電式設備・機器等の導入の推進、及び実験機器・OA機器の昼間(8時~22時)におけるピーク時間の電力利用量の削減	全学
	水資源の有効活用【SDG6、12】	水使用量の削減に努める	節水の推進	①節水機器への更新 ②機器の適切な水量設定 ③使用量の把握・周知・増加原因確認及びその改善 ④雨水の再利用、井戸水の有効活用	全学
	グリーン契約【SDG9、12】	グリーン契約の推進に努める	グリーン調達比率100% 環境配慮契約の普及	①グリーン購入法適合物品の調達 ②エネルギー供給、建設事業等による環境配慮契約の推進 ③エシカル消費の普及	全学・財務部・施設環境部
	森林保護【SDG12、13、15】	紙使用の減量化に努める	紙使用量の削減とリサイクルの推進	①両面・Nアップによるコピー及び印刷の推進 ※ Nアップ・・・まとめて1枚 ②電子情報による管理 ③用紙・封筒の再利用 ④PCによる電子会議推進、事務手続きの簡素化・電子化 ⑤古紙のリサイクル	全学
	廃棄物の抑制【SDG3、6、11、12、13、14、15】	廃棄物の減量化に努める	廃棄物の削減とリサイクルの推進	①ゴミの分別と5R(Reduce削減、Reuse再利用、Recycle再資源化、Refuse不要品を買わない・もらわない、Repair修理して長く使う)の実施 ②ゴミ排出量の把握と減量化 ③食品ロスの削減(推進月間10月)、フードバンク支援の普及 ④実験・業務計画の検討及び見直し ⑤化学物質使用量の削減 ⑥有機溶媒の再利用 ⑦落ち葉、家畜排泄物を堆肥としてリサイクル	全学
2 環境貢献技術の創出	環境に関する研究【SDG1~17】	地球環境にやさしい研究開発の推進	省資源・省エネルギー、地球環境保全等に繋がる研究開発の推進	①地球温暖化に対する緩和策としての省資源・省エネルギー及び再生可能エネルギー、廃棄物抑制、気候変動による自然災害への適応性(防災・水資源・食・健康等の脆弱性改善)、環境保全、生物多様性の保全、生物資源の持続可能な利用などの研究の促進	学部等
3 環境モラルの醸成	環境教育(環境基礎、環境教育カリキュラムの充実)【SDG4、13】	学生への環境教育の徹底	実験排水の適正な処理の徹底教育・研究等による環境マインドの向上	①実験・講義の中で廃液処理教育の実施 ②全ての学部において、省エネルギー及び環境配慮活動に関する教育の実施	学生支援部 学部等
	環境美化【SDG6、12、13、14、15】	職員への環境教育の徹底	職員への省エネ意識の啓発	①省エネ啓発メールの送信及びポスターの掲示、対策状況の確認 ②国民運動クールチョイスとCO2削減県民運動(クールビズ、ウォームビズ、エコドライブ、緑のカーテン、ノーマイカー運動、エコ活動)等の環境教育の普及・推進 ③省エネ週間のパトロール実施(7・12月中の平日5日間を部局内で設定する)	全学 施設環境部
	環境美化【SDG6、12、13、14、15】	環境美化運動の促進	緑化の推進及び一斉清掃の実施	①除草作業・植木の剪定 ②構内芝張り ③キャンパス・クリーン作戦の実施 ④放置自転車の抑制及びリサイクル	学部等 学生支援部 施設環境部
4 地域との協調・コミュニケーション	地域との触れ合い【SDG4、10、13、17】	関係者に対する環境情報の提供	各種媒体を通じた環境情報の発信	①Webなどを活用した環境情報の発信 ②環境配慮に関する公開講座やセミナーの開催 ③環境配慮活動の広報活動	学部等 総務企画部 学生支援部 施設環境部
	職員・学生の自主活動による社会・環境貢献【SDG13、14、15】	地域貢献活動の推進	職員・学生の自主活動による環境貢献	①地域クリーン作戦に参加 ②国民運動クールチョイスとCO2削減県民運動(クールビズ、ウォームビズ、エコドライブ、緑のカーテン、ノーマイカー運動、エコ活動)等の地域貢献活動への参加	
5 法規制の遵守	化学物質の管理 水質汚濁防止【SDG3、6、12、13、14、15】	グリーンケミストリーの推進	化学薬品等の使用量の削減	①実験・業務計画の見直し	学部等 安全衛生対策室 施設環境部
	化学物質の適正管理の徹底	化学物質取扱者への教育・訓練の徹底		①説明会、講演会の開催、参加	
	下水排除基準、排水基準の遵守	化学物質及び排水・廃液の適正管理		①実験・研究室等の巡視による適正管理の徹底 ②実験排水・生活排水・雨水の適正管理の徹底 ③実験廃液の適正管理と回収の徹底	
	大気汚染防止【SDG3、6、12、13、14、15】	フロン漏洩防止 大気排出基準の遵守	フロン排出抑制法に関する第一種特定製品(業務用空調機器、業務用冷凍冷蔵庫等)の適正管理 自家発電装置等の大気排出基準による適正管理	①第一種特定製品の定期点検の実施 ②第一種特定製品のフロン算定漏えい量の確認 ③ボイラー、自家発電装置の適正な運転・管理	学部等
産業廃棄物の処理【SDG3、6、11、12、13、14、15】	産業廃棄物の適正な管理と処理	産業廃棄物の適正な管理と処理	①廃棄物マニフェストの適正な管理と処理	学部等・財務部 施設環境部	
6 環境マネジメントシステムの整備・充実	環境配慮の取り組みのための管理体制【SDG11、13、17】	管理体制による適正な活動	管理体制による適正な活動	①環境マネジメント体制の円滑な運用 ②環境マネジメント体制による行動計画の履行、実施状況の点検・報告(環境目標実施計画書の運用と取組の活性化) ③組織内への数値目標・実績等の周知、エネルギー・水使用量の点検及び増加原因究明と改善	全学